

博物館明治村

「第 40 回 明治村茶会」を 4 月 21 日・22 日に開催

～ 前売臨時会員券を 3 月 5 日から発売～

博物館明治村(所在地:犬山市内山 1 番地、館長:飯田喜四郎)は、4 月 21 日(金)・22 日(土)の両日、「第 40 回 明治村茶会」を開催します。

この茶会は、移築、保存、展示している村内の建物および庭園を茶席に使うことにより、文化財への愛着を深めるとともに、明治・大正期の建築の良さを理解していただくことを目的に、昭和 42 年(1967 年)から毎年開催しており、今回で 40 回目になります。

今回の席主は、坐漁荘・亦楽庵席では東京の根津美術館、学習院長官舎席は名古屋の桑山美術館、日本庭園の野点席では名古屋の長谷川一望齋の皆様となります。

なお、明治村では、この茶会の前売臨時会員券を 3 月 5 日(日)から 4 月 10 日(月)まで発売します。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 日時 4 月 21 日(金)・22 日(土) 午前 10 時～午後 3 時
2. 受付 午前 9 時 30 分～午後 2 時(明治村 正門前)
3. 内容

(1) 坐漁荘・亦楽庵席 《西園寺公望別邸「坐漁荘」(国登録有形文化財)》  
《茶室「亦楽庵」(国登録有形文化財)》

席主:東京・根津美術館

初代根津嘉一郎氏によって創立され、昭和 16 年(1941 年)に開館した根津美術館は、創立者根津翁の収集になる絵画、書跡、彫刻、陶磁、漆

芸、金工、木竹工、染織そして考古と多岐にわたる東洋古美術品が、その根幹となっています。ことに茶の湯の道具と仏教美術は内容の豊かなものとして知られ、その優品は枚挙にいとまがありません。明治の数奇者の取り合わせをお楽しみいただきます。

坐漁荘は、大正 9 年(1920 年)、西園寺公望が政界の第一線から退いた後に、静岡県清水市(現静岡市)興津町の海岸に建てた別邸。その名には、「何もせず、のんびり坐り魚をとって過ごす」という意味が込められています。

亦楽庵は、京都の医家であり漢学者であった福井恒斎ふくいこうさいが明治 10 年(1877 年)に京都市北区小松原北町の自宅の庭に建てたと伝えられています。

## (2) 学習院長官舎席 《学習院長官舎(国登録有形文化財)》

席主：名古屋・桑山美術館

昭和 56 年(1981 年)に開館した桑山美術館は、初代館長である桑山清一氏が永年にわたって収集した近代日本画及び美術工芸品を多くの方々に鑑賞していただくとともに、地域文化の向上に寄与することを目的に設立されました。なかでも鎌倉時代から現代にいたるまでの茶道具を中心とする所蔵品は、茶人の耳目をひくところとなっています。

学習院長官舎は、明治 42 年(1909 年)に東京都豊島区目白の学習院構内に建設された和洋折衷の建物。洋館部分は公的な場で使用され、私的な生活では日本座敷を中心とした和館を用いました。建設当時の学習院長は陸軍大将の乃木希典です。

## (3) 日本庭園・野点席 《日本庭園》

席主：名古屋・長谷川一望斎いちぼうさい

長谷川家は、尾張徳川家の御用鑄師つばしで、明治時代になり銀師に転身した金工の家系です。初代は益田鈍翁や森川如春庵らの薫陶を受けたといわれます。伝統的な茶道具から現代的な作品まで広く手がける当代一望斎の作品を明治の日本庭園でお楽しみいただきます。

日本庭園は、昭和 43 年(1968 年)2 月に明治村が建設した回遊式庭園。茶会では庭園内および東京盲学校車寄を利用して茶器などの展示を行います。

## (4) 点心席(三重県庁舎 1 階)

名鉄犬山ホテル調製

(5) 模擬店(三重県庁舎 1 階)

名古屋鉄道提供

- 4. 明治村茶会会員数 約 1,200 人
- 5. 参加見込み 約 1,000 人(両日計。うち、臨時会員約 400 人)
- 6. 会員以外の参加および購入方法

(1) 申込先

電話で明治村茶会事務局(TEL:0568-67-0314)までお申し込みください。

(2) 料金

臨時会員券 15,000 円(税込)明治村入村料含む  
前売券のみの販売

(3) 申込期間

3 月 5 日(日) ~ 4 月 10 日(月)

(4) 申込受付時間

午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時

この件に関するお問い合わせ・お申し込みは、  
博物館明治村 Tel 0568-67-0314  
ホームページ [meijimura.com](http://meijimura.com) まで